

然るに五月九日施行されたる郡農會長以下各役員選舉に於て、各町村選出農會議員は右要求を無視したので、其の要求は達せられなかつたのである。依つて聯合會に在りては當日選舉會場には會長稻富稜人以下六十餘名傍聴してゐたが、即刻役員會を開催對策協議の結果郡農會廢止を決議し、更に其の實行方法として、五月十三日浮羽郡吉井町に郡聯合會臨時大會を開催し、出席者二千三百餘名、郡農會對策を議題として其の要求貫徹する迄農會費不納を滿場一致を以て可決し別紙聲明書を發表し、現農會の排撃、自主的農會の確立を叫んだのである。

聲 明 書

茲に我等は郡農會に對し、郡農會幹部を我組合より選出されたと要求したれ共郡農會は我等の此の要求に對し何等の誠意なく一蹴して此の要求を擯り去るに至れり、抑々我等が斯の如き要求をなしたる所以は我等は單に役員の削減みを策したるものに非ず、又單なる名譽慾より之を要求をなしたるものに非ず、我等は今日の郡農會は農村對策のため何等一定の所見なく、例へば郡農會長自ら一營利會社の依頼に依りて廣藪處理法案の反對運動をなし乍ら恬とし恥するなく又會計の紊亂甚だしきを知り乍ら之を默視する等實に其の爲す所言語に絶するものあり。

我等は過去十數年來眞の農村對策の樹立は農民自身の力によるべく農村疲弊の原因は現經濟機構の改革に俟つべきものなりと主張し來れるものにして全農民一致協力之が改革を斷行すべく闘ひ來れるも